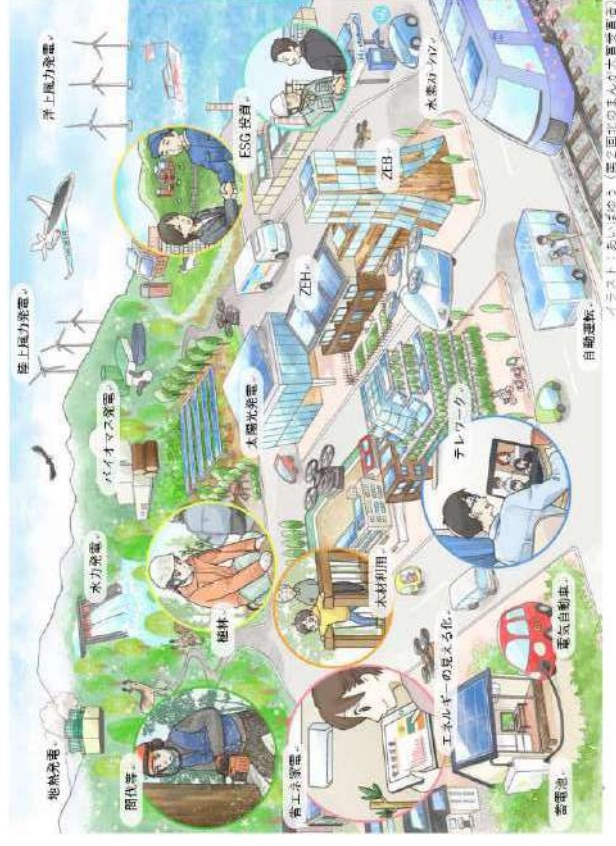


- ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組は長期間で社会全般にわたる。
- 実現後の姿やそこに至るまでの道筋を道民や事業者、行政などで共有することが必要。

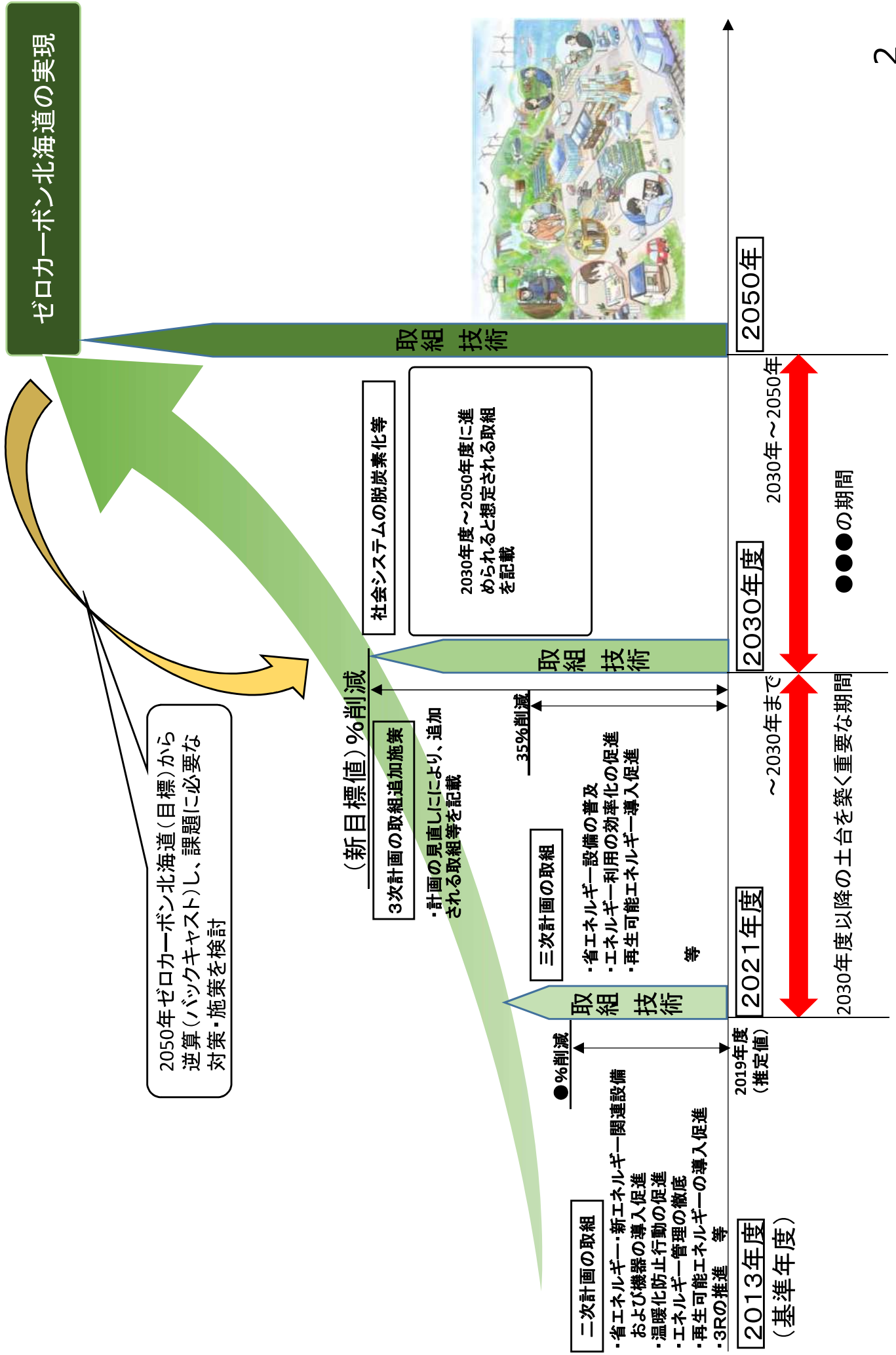


## 「推進の目安・将来の姿」を分かりやすく示す

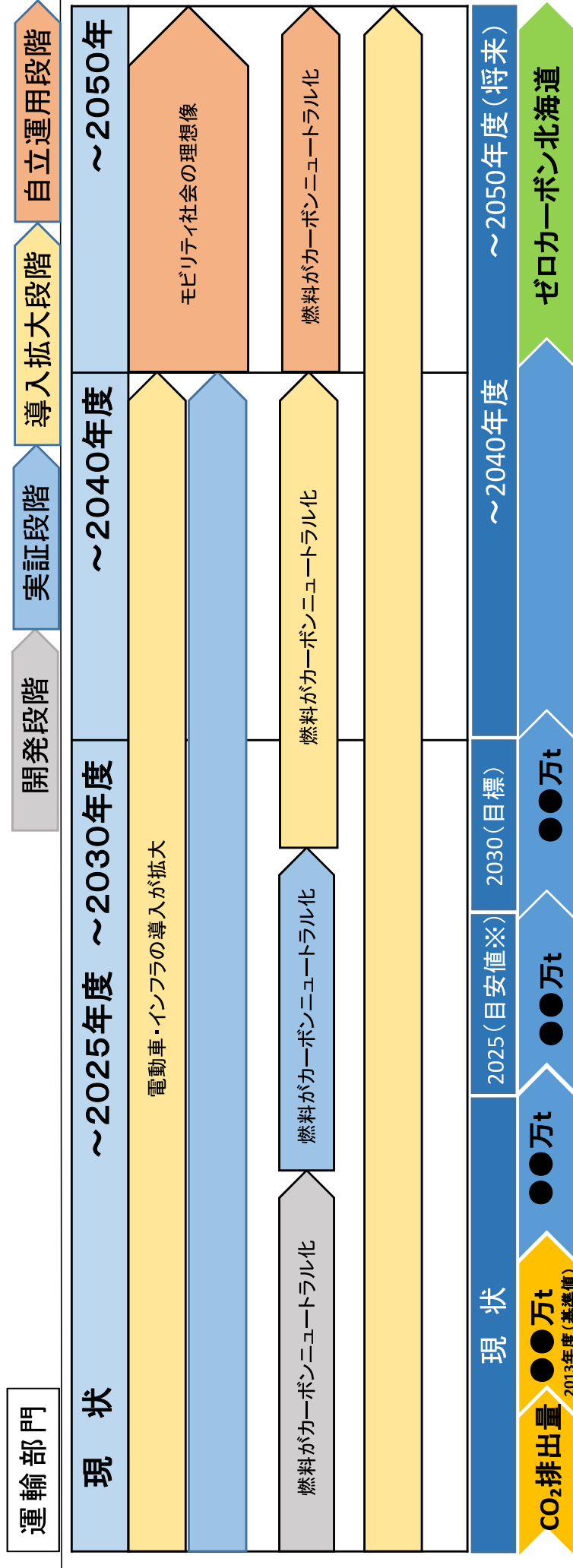
### <参考> 現計画における記載



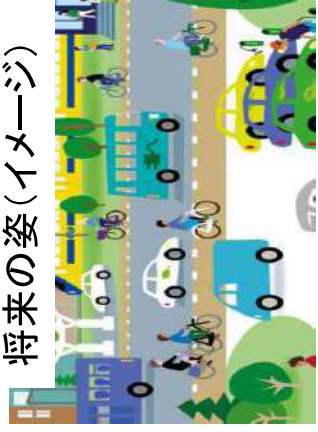
# 2050年までの推進の示し方(イメージ)



# 各部門の推進と将来の姿を示すイメージ



○道内の約20%を排出  
・広域に都市や集落が分散している地域構造から移動に使用する自動車のガソリンなど化石燃料の使用量が多く、全国平均よりも温室効果ガス排出割合が多い。



将来の姿(イメージ)

＜モビリティ社会の理想像＞

※2025年度の数字は2030年度に向けた進捗状況を確認するための目安として示す。



# 行動変容を促す効果的な訴求方法

家庭から排出される二酸化炭素の排出量を、2030年度までに1世帯当たり41%削減するためには、電力の排出係数の改善<sup>\*</sup>により削減される27%を除いた14%（約510kg/年）について、各家庭における徹底した省エネにより削減する必要があります。

今の生活水準を落とさずに、電気、ガス、水道の無駄使いを見直したり、省エネ性能の高い家電に買い替えるなど以下の省エネ行動と家電の買替えを行うことで、約15%（約530kg/年）を削減することができます。

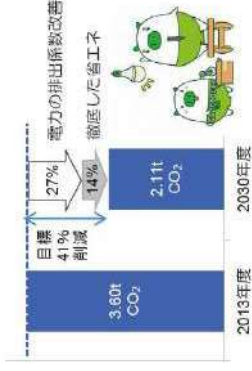


図9 家庭（世帯当たり）のCO<sub>2</sub>排出量

<sup>\*</sup>国の地球温暖化対策計画で示された2030年度の電力の排出係数0.37を考慮した場合の削減効果

表2 家庭での省エネ行動によるCO<sub>2</sub>削減量

省エネ行動	削減量 (kg/年)
1 冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」にした場合（庫内温度22℃）	約 23 kg/年
2 夏の冷房時の室温を27℃から28℃にする（外気温31℃で1日9時間使用）	約 11 kg/年
3 冬の暖房時の室温を21℃から20℃にする（外気温6℃で1日9時間使用）	約 20 kg/年
4 電気製品を使わないときはコンセントからプラグを抜く	約 41 kg/年
合計	約 95 kg/年

表3 高効率な省エネ家電への買替えによるCO<sub>2</sub>削減量

高効率な省エネ家電に買替え	削減量 (kg/年)
1 5年前の冷蔵庫（40ℓ～450ℓ）を最新型に買替え	約 32 kg/年
2 10年前のエアコン（2.8kW）を最新型に買替え（1日18時間使用）	約 31 kg/年
3 9年前の液晶テレビ（32V型）を最新型に買替え（1日4.5時間視聴）	約 39 kg/年
4 白熱電球（54W）10個を、電球型LEDランプ（9W）に買替え（年間2000時間使用）	約 333 kg/年
合計	約 435 kg/年

## ●自動車についての取組

自動車から排出される二酸化炭素の排出量を、2030年度までに1台当たり24%（約720kg/台・年）削減するためには、エコドライブの推進や低燃費車への買替えが有効です。

表4 自動車での省エネ行動によるCO<sub>2</sub>削減量

省エネ行動	削減量 (kg/年)
1 ふんわりアクセル「eスタート」をする（最初の5秒で時速20キロを目標）	約 194 kg/年
2 加減速の少ない運転をする	約 68 kg/年
3 早めのアクセルオフ	約 42 kg/年
4 アイドリングストップ	約 40 kg/年
5 月に1度はノーマイカーデーとし、電車・バスなどの公共交通機関を利用する	約 11 kg/年
合計	約 355 kg/年

## <コラムの記載例>

行動によるCO<sub>2</sub>削減量は、経産省の「省エネ徹底ガイド」等で公表されている。

この値を引用し、例えば北海道の家庭、事業者ではどの程度減らすのどのような行動を行わなければならないか等を計画や計画の資料編にコラムを複数追記する。